

氏名	根本広文
所属と職位	医療保健学部診療放射線学科・准教授
主な資格と学位	診療放射線技師, 第一種衛生管理者 修士(放射線技術科学)(茨城県立医療大学)
プロフィール	1983 年 中央医療技術専門学校卒業 1983 年 大甕茅根病院入職 1984 年 大甕茅根病院退職 1984 年 筑波大学附属病院放射線部奉職 1998 年 筑波大学附属病院放射線部主任 2006 年 筑波大学附属病院放射線部副診療放射線技師長 2011 年 茨城県立医療大学大学院博士課程前期終了 2019 年 筑波大学附属病院放射線部退職 2019 年 つくば国際大学医療保健学部診療放射線学科准教授
研究分野, 研究テーマ	放射線技術学(核医学): 放射性医薬品を用いた脳血流定量法の開発とその臨床的意義に関する研究
主な所属学会・協会	日本核医学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 茨城県診療放射線技師会, つくばサイエンスアカデミー, 日本放射線技師教育学会, 核医学技術学会関東地方会
主な担当科目	核医学検査技術学Ⅱ, 放射線関係法規, 放射性医薬品学, 診療画像技術学実習Ⅱ(応用技術), 放射線安全管理学実験, 総合演習Ⅱ, 臨床実習, 卒業研究
主な論文・著書	[論文] ・根本広文, 岩坂明美, 橋本新吾, 原唯史, 根本清貴, 朝田隆. ^{99m}Tc-ECD 脳血流 SPECT 画像統計解析の後期高齢者ノーマルデータベース構築について. 日本核医学機関誌 52 巻 4 号 353-362, 2015 ・根本広文. 脳核医学の有用性について—eZIS 高齢者 NDB の検討を中心—to. 群馬県核医学研究会会誌 Vol.29 No.2 p35-40, 2015 ・根本広文, 中居康展, 畠山六郎, 鹿野直人, サブリナ・ジェスミン, 山口直人. ^{99m}Tc-ECD Patlak plot 法を用いた脳血流 acetazolamide 負荷定量測定値の臨床的意義について. 日本核医学機関誌 49 巻 4 号 329-340, 2012 ・根本広文. ^{99m}Tc-ECD Patlak plot 法を用いた脳血流 acetazolamide 負荷定量測定値の臨床的意義について. 茨城県立医療大学大学院修士論文, 2011 ・Aiki Marushima, Hideo Tsurushima, Kensuke Suzuki, Yasunobu Nakai, Hirobumi Nemoto, Akira Matsumura. Time-Course Analysis Brain Perfusion Single Photon Emission Computed Tomography Using a Three-Dimensional Stereotactic Region-of-Interest. World Neurosurg (2011) 76, 3/4 : 304-310, 2011 [著書] ・監修 松田博史、編集 玉岡晃、柴田靖、根本清貴、執筆者 根本広文 他 31 名. 脳 SPECT パーフェクトガイド. (株)メディカ出版. Pp353-362, 2018
主な社会活動	茨城県臨床核医学研究会世話人 公益社団法人日本放射線技術学会関東支部核医学研究会副代表 つくば市「並木三丁目二・五区会」区会長
e-mail	h-nemoto@tius.ac.jp